

あかいわの大地の成り立ち

① 吉備層群周匝層

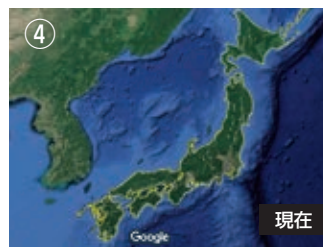


吉備高原はとっても安定？ カギを握るのは太古の川の跡

赤磐市は、日本で最も安定した大地と言われる「吉備高原」に属しています。この吉備高原では、日本列島がまだユーラシア大陸の一部だった頃の河川の痕跡（「吉備層群」と呼ばれる地層）がいくつも見つかっています。そのうちの一つで、吉井川沿いに分布する「周匝層」は、約3400万年前にできたことがわかっています。日本列島が大陸から分かれるという大きな出来事があったにもかかわらず、この周匝層がかつての河川の形を保っていることが、吉備高原が非常に安定だと言われる根拠になっています。



吉井B&G海洋センター横の草生多目的広場で、周匝層を間近に観察することができます。



ジオポイント

日本列島は、今から約2500万年前までユーラシア大陸の一部でした。その後大陸から分離して、約1500万年前にはほぼ現在の位置へ移動してきたと考えられています。日本列島は最初、二つの島に分かれていて、日本は二本でした。それぞれが観音開きのように回転しながら移動して、最後は接合して一つの列島になったと考えられています。

もっと知りたくなった人は、地球史研究所の先生に聞いてみよう！

▶ 地球史研究所 ☎956-3538（※外出中で不在のときもあります）



●問い合わせ先／本庁政策推進課 ☎955-2692